

保育計画成果報告書

法人名等	学校法人三橋学園
施設名	トレポンテ駅前保育園
報告者（役職）	南部愛子（園長）
住所・連絡先	千葉県船橋市本町6-8-1
	☎ 047-409-8816
	E-mail ekimae@treponte.jp

○タイトル（保育計画）

粗大遊具遊びを通して身体全体の筋力、なめらかな動きが身につくバランスのとれた身体づくりをする。

○主な助成備品

・滑り台付きジム ・カラートンネル ・ソフトリング ・三輪車

1. 保育計画策定の目的

本園は船橋駅より徒歩5分の所に位置し、平成28年4月に開園しました。

建物は4階建ての中で園舎は1階にあり、2～3階は保育士養成の専門学校です。園庭はありません。小規模園なので入園する園児は0才児～2才児で21名です。3才からは連携幼稚園に進む方向性になっています。

目標は「楽しい、うれしい、やってみたい」、乳児であっても能動性を大事に考えています。

人にとって一番大事な基礎を育む時期の子ども達なので身体の発達、心の発達、脳の発達をバランスよく成長できるよう、一人ひとり大事に育てていきたいと日々保育を進めております。

その中で身体面の発達を促すうえでは環境整備が大事になってきますが、状況は園庭が無く、近隣の公園を遊び場として利用していますが、そこに設定された遊具は幼児から小学生向けが多く危険が伴う為、成長を待つ利用する事が現状です。

基本的な身体能力が成長発達する為には日々の積み重ねが必要な為、身近に経験出来る環境を整えたいと思いこの度お願いしました。

2. 具体的な実施内容

①室内用の滑り台付きジム

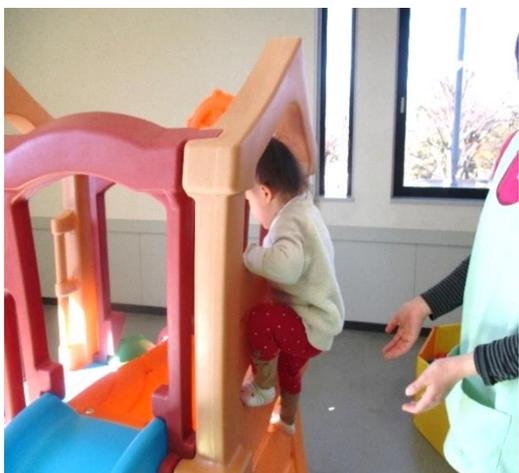
保育園の廊下に設置するには大型だったので、統合施設である保育士養成施設の一室を借りて設置し毎日遊んでいます。

階段を一段一段登ることで、手で身体を支え、足はバランスをとり身体を支えて筋肉が育ち、はしごも登れるようになって行きました。

滑り台は寝ころんで滑っていたものが、背筋、腹筋の発達に伴い身体を支えられるようになり座位で滑るようになりました。

又滑る所を下から手と足の力で登っていく事も出来てかなり力がついてきたと思います。

その結果2才半には公園のアスレチックの高く幅の広い滑り台も丸太の階段を上り、バランスを取りながら座位で滑ることができました。



②三輪車

保育園の狭い廊下を使って、1才過ぎてからバギーカーに乗り始め、徐々に上手に乗れる様になっていきました。

2才児は上手に乗れるのですが、平面だけでなく、斜面を置いて変化を付けて楽しんだりもしましたが、段々動きが活発になりスピードを出して乗り、ハンドルさばきも壁や車同士ぶつからないようによけられる様になり、次のステップへいけるといいなと思っていた時期に三輪車がいただける事になりました。

早速2才児は喜んで三輪車に乗り始め1週間ほどでコツを掴み上手にこいで乗れる様になりました。

1歳児も後半になり興味を示しました。発達を順を追って見ると

1. 一人で体重移動をしてしっかり手で押さえて跨ぐ。

(片足で全体重を支え、もう片方の足を上げて、手はその動作を支え連動しながら跨ぐ。
足は床に全く付かない状態)

2. 跨いで足が地面に付く事が出来るとつま先で前に進むようになる。

(足の親指が床につくとつま先でけて前に進みます。手はハンドルを
掴んでいますが体制を保つ事に重点がおかれるので少ししか進めない。)



3. 地面にしっかり足が着ける様になると速く進めるようになる。

(両足が床にしっかり付くと体は足で支えられるので神経が手の方にもむきハンドルを動かせるので壁にぶつかり止まると方向が変えられる様になる。)

4. 壁に当たる前にハンドル操作して方向を思う通りに変えられる。

(目が壁を捉えぶつかる前にハンドルを動かして進む事が出来る様になる。
目と手と足の連動が出来て来る。)

5. ペダルに足を乗せ漕ごうとするが初めは後ろに進んでしまう等上手に進まない、何回も挑戦して前にペダルを漕いで進める様になる。

(ペダルを漕ぐには、体を前後に動かして体重移動をしながらタイミングをつかんで足を交互に押し出すことが必要になる)

6. 最後はぶつからないようにハンドル捌きも漕ぐタイミングも合ってくるので、上手に自由自在に乗れるようになる。

スピードが出すぎたら、山やトンネルを設定して、付加をかけていくとさらに筋肉が発達し、体の動き曲がる時の体重移動も巧みになり、状況判断出来るようになると物や友達にぶつかることも無く楽しんで乗って遊ぶようになる。



③トンネル

全身の筋肉を全部使って運動できるのがハイハイ(クマさん歩き等)。0才～1才～2才でたっぷり経験する事で全身の筋肉が育ち、その後の活動がスムーズに行う事ができ体幹が育つので、結果他の遊びをしていても怪我につながる事が少なくなります。

今の時代、住宅事情もありハイハイをする時期が少なく、すぐにつかまり立ちから早く歩き始めてしまったお子さんも多いのですが、そういう子にも今からでも遅くないので、楽しくハイハイが出来る様に色々な活動に誘っていきます。

トンネルは楽しく潜ってハイハイ運動がたっぷりできる道具なので工夫をしながら沢山経験させていきたいと思います。

三輪車などの乗り物を使う時は台を使って高くして潜って楽しんでいきます。



④ソフトフープ

- 柔らかな素材なので色々な活動が出来ます。
転がして後を追いかけて走る、つかむ。
床に並べ輪の中を跳ぶ
輪をくぐる上から下へ、横に立たせトンネル
のようにして横からくぐる。
- 輪の中に入り電車ごっこのように遊ぶ。
大人と一緒に、又は一人で遊ぶ事が多いが
年令が上がると友達と一緒に入って進んだり、
止まったり一緒に楽しむ事が出来る。
- 床にうつ伏せに横になりフープを大人が持ち
子どもは両手でフープを持って引っ張っても
らい進む。
- 鉄棒のようにフープにぶら下がり大人が上に
持ち上げる。
- ブランコのようにフープに腰掛けて両手でつかみ
大人が左右に揺らして遊ぶ。



3. その成果と評価

今回大型滑り台付きジムを設置することが出来たので、外に出られない雨の日なども全身を使ってダイナミックにあそぶ事が出来る様になりました。

又公園の遊具は1～2才の子ども達には難しく危険を伴うので使えなかったのですが、室内で無理なく発達に合わせて使う事が出来るジムで遊ぶ事により少しずつ体力や身のこなし、筋肉が育ち手・足に力がついてきて全身が育って来たので、公園の少し高さのある遊具に登り、アスレチックの太い丸太に上り下りする事や、幅の広い滑り台を座った姿勢で滑り降りる事も不安無く出来るようになりました。

トンネルを使った高這い姿勢やフープを使った運動をする事により、公園のブランコも落ちること

なく大きく揺らしてもらっても体の平衡を保って危なげなく楽しんで乗ることができていました。

三輪車は1才児から発達に添って順序よく心も身体も成長する様子が細かく見る事が出来、この遊具が心身の発達に大事な役割をはたしている事を改めて見直す事ができ、保育者の勉強にもなりました。

4. 今後の課題と展望

今後いただいた遊具を使ってさらに子ども達が成長できる様、遊び方、使い方をさらに工夫し、幅を拡げて考え安全には十分気を付けながら、園庭が無い、遊び場所が少ないマイナス面を職員みんなで乗り越えていきたいと思っています。第一生命財団にお礼申し上げます。大事に使わせて頂きます。

以上